

（記載例 2：大規模イベント）

1. 提案タイトルと対象テーマ

提案タイトル：秋の十勝を味わう焚き火レストランキャンプ「TOKACHI FIRE TABLE」

対象テーマ：季節格差の解消、地域格差の解消

対象地域：スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールド、帯広市、十勝管内

想定時期：2027 年 10 月上旬の週末（1 泊 2 日）

2. 企画提案の内容

本企画は、秋季の週末に、スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールドを会場として、十勝産食材を地元シェフが監修する「焚き火レストラン」を体験できる 1 泊 2 日のキャンプイベントである。単にキャンプ場に泊まるのではなく、十勝の生産者と料理人が手がける「夜のレストラン」を、満点の星空と焚き火の下で味わう——そんな新しい秋の過ごし方を提案する。

- ・ **キャンプと味覚の融合**：自然の中で五感を使って十勝の食を味わう
- ・ **一夜限りのキャンプ場焚き火レストラン**：地元シェフ監修のもと、土地ならではの旬の食材を使った料理を、食材調達も調理もせずに味わえる
- ・ **焚き火を囲む夜の時間**：参加者自身も焚き火を囲んで夜を過ごすなかで、参加者同士の自然な交流が生まれる
- ・ **十勝食材ミニマルシェ**：前夜に味わった食材を生産者から直接「買って帰る」ことができ、地域内消費とお土産需要を生み出す
- ・ **手ぶら参加プランを用意**：テント・寝具・調理器具をレンタル付きで提供し、初心者参加ハードルを下げる

3. 実現に向けて確認・解決が必要な事項

- ・ スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールドとの接点形成・会場利用調整
- ・ 30 組規模で利用可能なサイト数・駐車場・共用スペース・火気使用範囲の確認
- ・ 食材提供事業者の確保と食品衛生管理体制の整理、雨天荒天時の代替プログラム準備
- ・ 参加者数が想定を下回った場合の対応策

4. 提案実施後に期待される効果・広がり

星空と焚き火に包まれた非日常のなかで、地元の生産者やシェフと参加者が自然に出会うタッチポイントが生まれる。「食べる・話す・買って帰る」という流れがイベント自体に組み込まれているため、宣伝に頼らずとも十勝のブランド食材の魅力が伝わる。本企画は会場や食材を入れ替えることで他地域への展開も可能である。

継続的な SNS 発信と参加者・出店者の交流からリピーターやファンが生まれ、関係人口の創出も期待できる。中長期的には「焚き火×食」を切り口とした十勝のブランディングを進め、秋季の新しい観光モデルとしての定着を目指す。

5. 補足資料

■ コンセプトビジュアル



星空と焚き火に包まれた「TOKACHI FIRE TABLE」のイメージ

■ 想定参加者ペルソナ

田中さん（35 歳・札幌在住）	妻と 4 歳の娘の 3 人家族。年に 2～3 回ファミリーキャンプを楽しむが、最近は「設営や料理に追われて、自然をゆっくり味わえない」と感じている。十勝産の食材や地元シェフの料理に関心があり、「準備の手間なく、特別な体験ができる週末」を探している。
佐藤さん夫妻（29 歳・札幌在住）	結婚 2 年目。アウトドアは未経験だが、SNS で見るキャンプの世界観に憧れがある。手ぶらで参加できて、写真映える非日常の体験を求めている。地元の食や生産者との出会いにも興味あり。
山本さん（42 歳・帯広在住）	地元飲食店で働くキャンプ歴 10 年のソロキャンパー。地元の食材や生産者と接点を持てる機会を歓迎しており、リピーター・地域の発信者候補としても期待できる層。

■ イベントタイムテーブル（1泊2日）

日	時間	行程	内容・ねらい
1 日 目	14:00～	受付・リストバンド配布	参加組数・名簿確認、引換管理を準備
	15:00～	テント設営サポート	初心者にも参加しやすい体制を確保
	17:30～	焚き火ディナー	十勝産食材を地元シェフ監修のメニューで提供
	18:30～	食材トーク	生産者・料理担当者から十勝の食材を学ぶ
	19:30～	焚き火交流会	参加者・出店者の自由な交流を促す
2 日 目	8:00～	朝食・十勝食材ミニマルシ ェ	前夜に味わった食材を「買って帰る」動線を確保。 生産者と直接交流できる場とする
	10:00	撤収・周遊マップ配布	道の駅・直売所・カフェへの立ち寄りを促す

■ プロモーション計画

時期	媒体・チャネル	発信内容・ねらい
4 か月前	Instagram・X（世界観の予告投稿）	焚き火と十勝食材のビジュアルで世界観を予告
3 か月前	専用申込ページ・SNS 広告	申込開始。手ぶら参加プランを訴求
2 か月前	キャンプ系メディア・地域メディア	監修シェフ・生産者のストーリーを掲載
1 か月前	リマインド投稿・ 宿泊先や近隣施設での掲示	残席訴求・当日の楽しみ方を発信
開催中	参加者の投稿（共通ハッシュタグ運用）	参加者・出店者のリアルタイム投稿で拡散
開催後	note での開催レポート・生産者公式 SNS	開催レポートで余韻を共有、次回告知